

安心計画 住宅VRサービス、完全無料化へ スマホをプレゼンツールに活用

住宅営業支援のソフトとサービスを提供する安心計画(福岡市博多区、小山田隆広社長)は、工務店と施主に向けたVRサービス「ウォークインホーム・プラスVR」のコンテンツを強化し、8月から無料化した。一般的にはアプリ自体は無料でも利用料が別途発生するが、同サービスは利用料も無料の完全無料化となる。

「ウォークインホーム・プラスVR」は、3DプレゼンCAD「ウォークインホーム・プラス」で作成したCGの部屋や庭を、スマホとスマホ用のゴーグルを使用して簡単にVR(仮称現美)体験できるサービス。

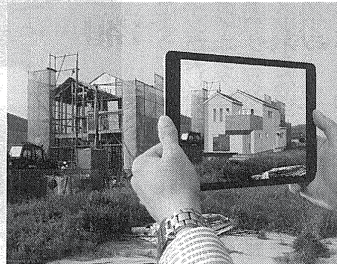
一般的にVRといえば、大がかりな機材が必要で、それらの設置スペースと高額な導入コストがかかるものが多い中、同サービスは、スマホがあれば利用できるローコストで手軽なVRだ。工務店や住宅メーカーはスマホをプレゼンツールとして利用できる。施主も自分のスマホ

ホで未来のマイホームやリフォーム後のマイルームをVRやAR(拡張現実)で体験できる。また、全天球カメラで作成した360度写真と「ウォークインホーム・プラス」で作成した改修後のCGをパラレル表示することで、住宅の現在・過去・未来を立体的に比較するプレゼンや、実用度の高い物件の履歴管理が可能となった。

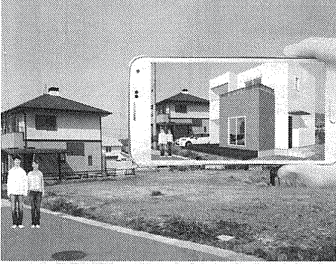
ユーザーである工務店は、CADで作成した3Dのプランデータをスマホ用に変換する必要があるが、同社と保守契約済の場合、別途費用は一切不要となる。なお、スマホ用VRゴーグルやコントローラー、全天球カメラはオプション購入が必要となる。



スマホゴーグルで360度VRを体感



現場で完成予想CGを合成



未来の我が家と記念撮影